

ノーリフティングケア

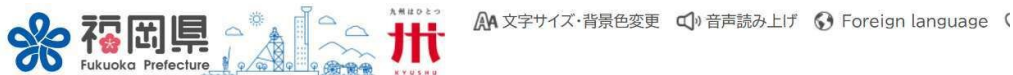
～続ける事の大切さと失敗から学ぶ軌道修正～

福岡県ノーリフティングケア モデル施設
1期生 介護複合施設ひばり 佐藤 亮



福祉業界には双方に優しい概念の
ノーリフティングケアが有効
(しかし…社内で中々広まらない…)

令和2年度 県事業として始動
『福岡県ノーリフティングケア普及促進事業』



テーマから探す 目的から探す 組織から探す Google 提供

トップページ > 健康・福祉・子育て > 介護・高齢者福祉 > 介護職員・介護支援専門員 > 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

情報が見つからない

このページを見
このページも見て



児童福祉

- ・相談支援
- ・居宅訪問型児童発達支援
- ・重症心身障がい児支援
- ・児童発達支援
- ・放課後等デイサービス

障がい福祉

- ・相談支援
- ・訪問介護
- ・重症心身障がい者支援
- ・生活介護 生活訓練
- ・就労継続支援B型（店舗型）
- ・就労継続支援B型（作業所）
- ・共同生活援助

介護福祉

- ・居宅介護支援
- ・訪問介護
- ・訪問看護
- ・通所介護
- ・住宅型有料老人ホーム



BEST GROUP

可能性は無限大! 社会福祉事業のベストグループ

児童福祉

- ・相談支援
- ・居宅訪問型児童発達支援
- ・重症心身障がい児支援
- ・児童発達支援
- ・放課後等デイサービス

障がい福祉

- ・相談支援
- ・訪問介護
- ・重症心身障がい者支援
- ・生活介護 生活訓練
- ・就労継続支援B型（店舗型）
- ・就労継続支援B型（作業所）
- ・共同生活援助

介護福祉

- ・居宅介護支援
- ・訪問介護
- ・訪問看護
- ・通所介護
- ・住宅型有料老人ホーム



- ・通所介護
- ・住宅型有料老人ホーム

介護複合施設ひばり（1期生）

『ノーリフティングケア』

取り組み



結果



失敗



軌道修正
再チャレンジ！



参加前に起きてた失敗

- ① 計画的でない研修開催
- ② 支援内容の統一が不完全
- ③ 意識変革が行なえていない
- ④ 福祉用具の不足

参加前

『NPO福祉用具ネット様のノーリフティングケア技術研修に参加』

複数人が技術を習得！

研修開催

ノーリフティング技術の伝達

単発的な開催



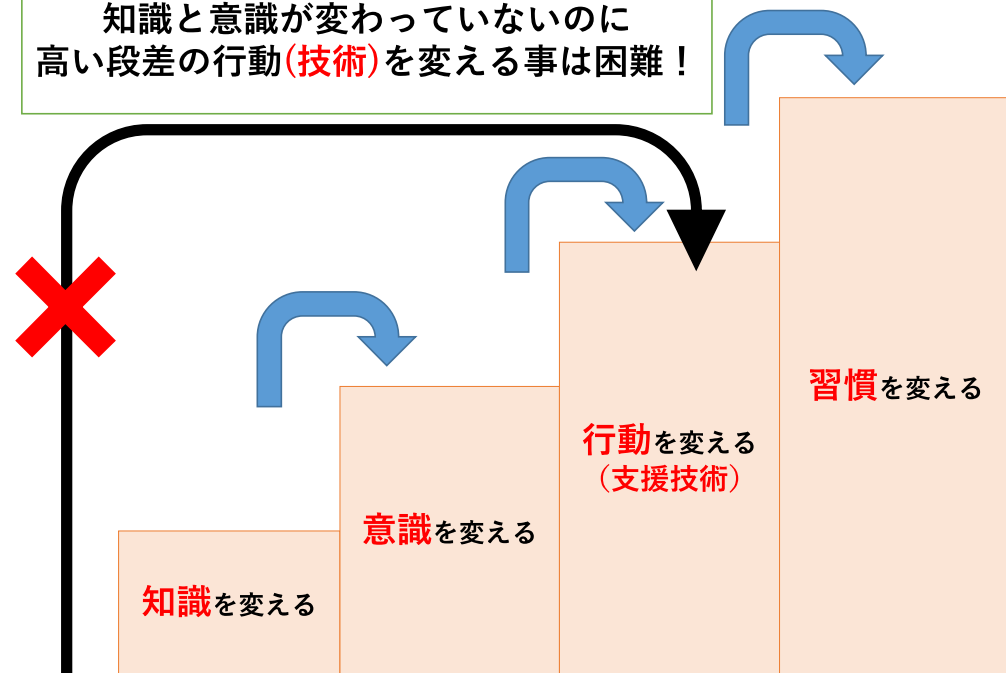
技術に差



支援の不統一

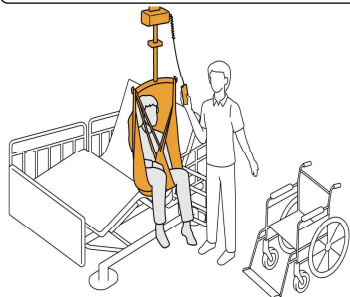


『意識変革が行なえていない』
知識と意識が変わっていないのに
高い段差の行動(技術)を変える事は困難！

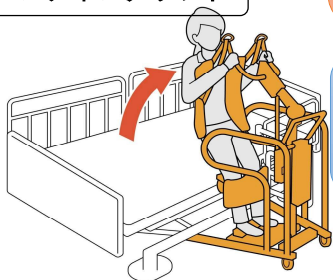


『福祉用具が不足』

床走行リフト・天井走行リフト



スタンディングリフト



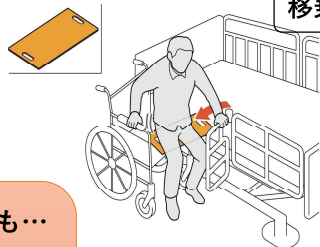
入れるとしても…

種類がたくさん

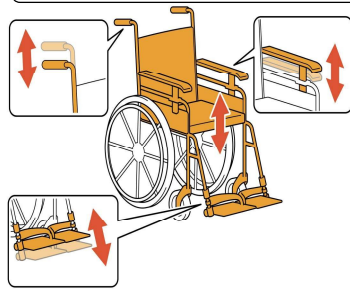
本当につかうの？

計画・意識・環境
が整っていないと
普及は困難

移乗ボード



モジュール車椅子への変更



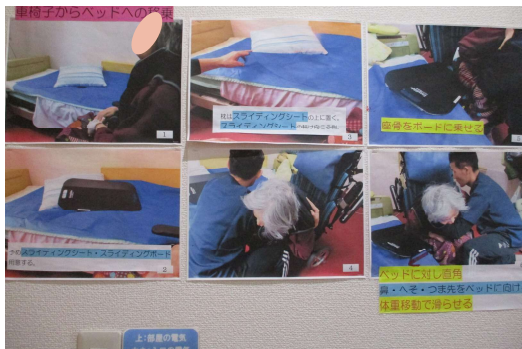
© 2021 日本支援工理学療法学会

介護複合施設ひばり

老人ホーム⇔デイサービス

施設間のケアの統一
見える化・研修開催
福祉用具導入

業務開始前にオリジナル
ノーリフ体操



1年目『ノーリフティングケアの 目的の浸透』を目標とし活動



県事業によるマネジメント研修
計画立案+振り返り+アドバイス

ノーリフティング委員会設立＝組織化・定例会議

ノーリフティングケア＝リスクマネジメント（意識）

計画的な研修



支援の統一



福祉用具導入



1年目に起きてた失敗

- ① 使い難い福祉用具の購入
- ② 要領が分からないため計画遅延
- ③ 全員の再アセスメントを行なおうとして無理が…
- ④ 在宅で困っている方の対応

軌道修正

- ① 使い辛い福祉用具の購入
福祉用具業者からまずは**レンタル**
- ② 要領が分からないため計画遅延
講師のアドバイスの元**計画修正**
- ③ 全員の再アセスメントを行なおうとして無理が…
優先度の高い方から一歩ずつ
- ④ 在宅で困っている方の対応
2年目の計画に導入



2年目 『在宅者、入所者そして職員
がより良いケアを』を目標に
環境整備をおこなった



在宅者へのアプローチ

各連携が必要

(再アセスメント等は継続)

ケアマネージャー



家族



環境調整



在宅への働き掛け事例

在宅介護者の声
『一人での移乗（介護）が不安』

- ① ケアマネージャーから相談
- ② 支援者（家族）への体験
- ③ 本人への体験・研修（関係者）
- ④ リフト導入

在宅への働き掛け事例

ケアマネージャーと連携
家族へのリフト体験会



リフトが分からない不安 ⇒ 在宅介護への安心感

在宅への働き掛け事例

本人への体験会 関係者への研修

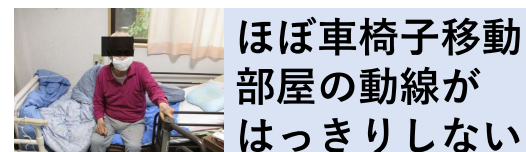


相談からスピード導入
ケアマネージャーとの連携の重要性を実感

2年目に起きてた失敗

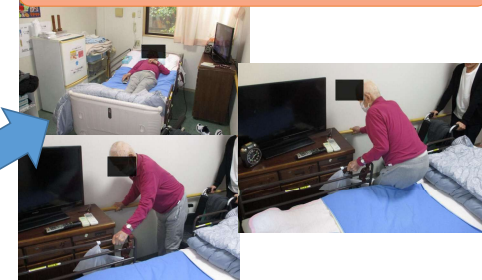
- ① ケアマネージャーの意識差
- ② 職員の技術スキルが我流に
- ③ ノーリフティングケアの認知度

【環境調整】



ほぼ車椅子移動
部屋の動線が
はっきりしない

自立に繋がる環境調整



- ・動線の明確化
- ・壁の手すり利用
- ・起居動作、起立動作がスムーズに

リスク大

ノーリフティングケア視点で
アセスメント

- ・自力で起立可能
- ・歩行器歩行可能（5m）
- ・手すりを持って移動可能
- ・座位時、勢いがついてしまう

ご本人の目標
『自室から食堂まで歩いて移動することが出来る』

軌道修正

- ① ケアマネージャーの意識差
地域連絡協議会にて研修開催
- ② 職員の技術スキルが我流に
再研修の開催、定期開催を継続
- ③ ノーリフティングケアの認知度
地域イベント・当社での活動告知

外部を巻き込むためには周知が重要

3年目『スタッフへの教育・地域へ周知』を目標とし活動



地域への周知

当グループ全体への研修

地域協議会



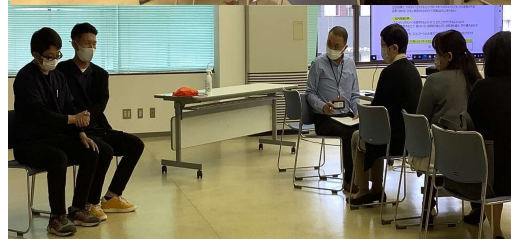
イベント・体験会 社内研修



再アセスメント



筑豊地区ケアマネージャー 地域連絡協議会 (改善実例にて連携の重要性を伝達)



飯塚市イベント ノーリフティングケア 技術体験会



特別支援学校

移乗相談



4人で
抱え上げ

当事業所にて体験講習会



学校にリフト導入

介護事業から社内各事業所へ

年間スケジュール
ステップアップ

実技研修



実践
試験

指導研修



指導者
試験

地域貢献



合格者は社内資格手当付与！

技術伝達に向けて



在宅への働き掛け事例②

- ① 退院後の状態変化（抱え上げ）
- ② 環境改善（家族の不安・研修）
- ③ 再アセスメント（状態変化）
- ④ 再環境調整（研修）
- ⑤ 在宅継続

在宅への働き掛け事例②

B様 環境調整

退院後：移動は困難

希望：在宅継続+複数通所



2人体制での送迎希望



ベッドから玄関下まで
抱えて移動する為



双方に負担大

在宅への働き掛け事例②

購入でなくレンタル試験運用提案



不安
他事業所が
ボード未経験

送迎時
研修開催

移乗方法の統一
1人体制での送迎可能

在宅継続

在宅への働き掛け事例②

ベッド⇔車椅子



スライディング
ボード

土間の高さ



スロープ

移乗方法の変更の提案→ケアマネージャー
家族→環境調整、移乗方法がイメージできない

在宅への働き掛け事例②

B様：状態変化
座位姿勢保持が**困難**

ボード使用での移乗
リスク高まる

再アセスメントを実施

移乗方法を再検討



在宅への働き掛け事例②

ケアマネージャーへ リフト設置の提案

前回で家族との信頼関係UP
スムーズな導入+連携

送迎時
研修開催



結果：本人とご家族の希望する安全な
【在宅介護+複数通所の利用継続】

軌道修正

① 定期的なラウンドの開催が行なえていない

誰が何処にを明確にした再計画作成

② 重度の障がい児では抱える事が当たり前な現状の放置
ラウンドを児童中心に行い現状確認

③ 不良姿勢の意識向上ができていない

取り組みを変更・再チャレンジ

3年目に起きてた失敗

① 定期的なラウンドの開催が行なえていない

② 重度の障がい児では抱える事が当たり前な現状の放置

③ 不良姿勢の意識向上ができていない

4年目 『障がい児・障がい者施設への
ラウンド・環境改善』
を目標とし活動



ノーリフティングケアを必要としているのは
高齢の介護の現場だけでないという再認識

児童



障がい者



不良姿勢



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護・訪問・重心・GH	腰痛アンケート実施(WEB)	委員会第3月 不良姿勢写真作成	委員会第3月 不良姿勢声掛け月間	委員会第3月 活動報告ラウンド 困り事相談		委員会第3月 活動報告ラウンド 困り事相談		委員会第3月 業務改善 姿勢・環境調整等	改善報告	委員会第3月 活動報告ラウンド 困り事相談		委員会第3月 来年度計画 活動報告
児童就労(重心以外)	委員会メンバー選出	委員会第3月 不良姿勢写真作成	委員会第3月 不良姿勢声掛け月間	児童・就労に関しては不良姿勢の改善、不良姿勢・環境改善を中心に年2度のペースで行い業務改善報告に繋げる				委員会第3月 業務改善 姿勢・環境調整等	改善報告			
不良姿勢ラウンド		児童就労ラウンド			児童田川	自立支援	児童行橋	児童嘉麻	児童飯塚	児童宮若	児童就労	生活介護行橋
メイン補助		・佐藤 ・水田			・溝上 ・佐藤	・原中 ・佐藤	・溝上 ・佐藤	・荻野 ・溝上	・藤本 ・溝上	・江嶋 ・溝上	・中島 ・佐藤	・水田 ・佐藤
指導者	※各現場での毎月の活動(年間計画)					19:30～ 指導者会議		19:30～ 指導者会議			指導者更新研修 18時～	
ノーリフティング技術研修(第4木)	2期生試験	2期生試験	予備月	指導者会議 役割分担	2期生指導者研修 ① 18:00～19:30 ② 19:30～20:00	技術研修(3期生) ③ 18:00～20:00	技術研修(3期生) ④ 18:00～20:00	技術研修(3期生) ⑤ 18:00～20:00	技術研修(3期生) ⑥ 18:00～20:00	技術研修(3期生) ⑦ 18:00～20:00	技術研修(3期生) ⑧ 18:00～20:00	技術研修(3期生) ⑨ 18:00～20:00

【児童事業所】背景

児童事業所
重度の児童＝自身で動く事が
困難→抱き上げるのが当たり前

障がい特性・
車椅子のタイプも様々

移乗時は抱え上げ
選択肢がない
(知らない)



様々な支援で
不良姿勢

ダメージの蓄積が当たり前
気付いてない現状

労働省通達から見る、 一人が持って運ぶことが出来る重さとは？

満18歳以上の男子労働者が人力のみにより取り扱う重量は、55kg以下にすること。
また常時、人力のみにより取り扱う場合の重量は、当該労働者の体重のおおむね40%以下となるように努めること。重量を超える重量物を取り扱わせる場合には、2人以上に行わせるように努め、この場合、各々の労働者に重量が均一にかかるようにすること。
「職場における腰痛予防対策指針」より満18歳以上の女子労働者では、さらに男性が取り扱うことのできる重量の60%位までとすることによって結果、

最大瞬間重量は**55 k g 以下**

常用作業の最大荷重は**体重の40%**、女性は更にその**60%**

例：体重が60 k g の男性・女性

男性…60 k g × 40% = **24 k g まで**

女性…60 k g × 40% × 60% = **14.4 k g まで**

3歳児の平均体重…約14 k g

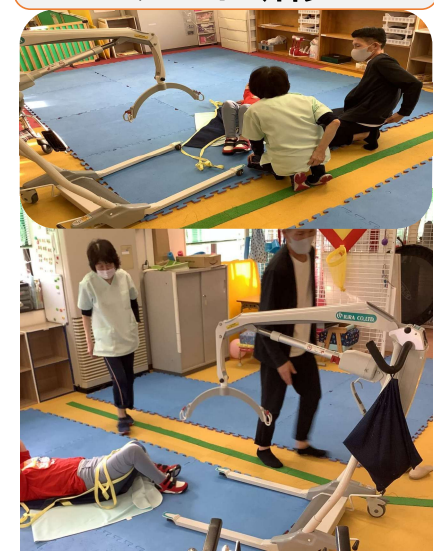
ノーリフティングケアは以下の5つの動作を極力行わない介助の方法です。

押す・引く・持ち上げる・運ぶ・体をねじる

【児童事業所】ラウンド→導入+研修

ノーリフティング委員会
によるラウンドの開催

不良姿勢を意識した
リフト研修



リフトの提案

床走行リフト申請
(現場検証にて)

導入(補助金) + 研修

【児童事業所】結果

移乗の**選択肢が増える** 『**双方に笑顔**』

児童：成長後も安心して移乗支援が受けられる。
職員：高齢でも安心して長く働ける、精神的リスクも減



グループ内各事業所へのアプローチ方法

就労B型



障がい



言葉の説明よりもシンプルに
イメージ+受け入れ易く

グループ内各事業所へのアプローチ方法

部門毎に**不良姿勢写真集**作成 現場で不良姿勢の定義で写真撮影

児童



訪問



4年目に起きてた失敗

① コアメンバーの退社

指導者育成→指導者として**経験**

5年目以降に取り組み、
現在では**社内認定の指導者**が増えた

本日の体験会にも参加



1年目	介護事業	組織化 周知	教育 統一
2年目	在宅	ケアマネージャー 家族	他社
3年目	地域 社内研修	地域連絡協議会 体験会	研修
4年目	児童 障がい者	ラウンド 家族	他部門
5年目	指導者育成	指導者研修	

現在は1～5期生までの**事例が豊富**

様々なマニュアルも作成からではなく
先輩施設の模範から

経験豊かな講師による**マネジメントサポート**

更に筑豊地区は…
技術認定者が高いレベルで多い！

【筑豊地域連絡協議会での交流】
特別養護老人ホーム 筑穂桜の園様へ
出張技術研修 開催



【福岡地域への交流】
出張技術研修 会場：つくも苑様
(つくも苑様・能古清和園様・白熊園様・ひまわり苑様)
出張マネジメント相談：つくも苑様
オンライン相談：能古清和園様

技術研修は福岡県ノーリフティング普及促進事業でも伝達していますが…

筑豊地区では地域連絡協議会でバックサポートも可能です！

地域を一緒に盛り上げる仲間を募集しています！

